

若手社員中心に技術発表

日さく「最優秀賞は「陥没の発生に伴う空洞調査」

日さくはさきごろ、2025年社内技術発表会をオンラインで開いた。

テーマは、「培ってきた経験を糧にして、日々技術力向上に努めよう！」で、全国各事業所・各部門から若手中心に11人が日頃の成果について発表を行った。発表会は自由参加だったが、技術職だけでなく事務職も含めた

最優秀賞は、東日本支社地質調査部の位下天寿氏が発表した「陥没の発生に伴う空洞調査事例」。優秀賞は、本社技術開発本部のウォー・フィー・ソンの「懸濁地下水中の鉄・マンガンの濃度の現地計測」、東日本支社土木部の荒木捷志氏の「kintoneの概要と土木部門での試用状況」、東日本支社さく井部の鶴井大晟氏の「長野営業所における防災井戸さく井工事」となった。

社内技術発表会は、以前は集合形式で開催していたが、コロナ禍により2021年度からは中堅・若手社員が実行委員会を結成し、企画から当日の進行・発表までを担い、オンライン形式での開催を継続している。

若林直樹・社長は「本年も今までと同様、中堅・若手社員が中心となり実行することにより、日常業務ではあまり経験することのできない企画力などを身に付けることにも繋がっている。また、今後も、中堅・若手社員がこの技術発表会を通じて、自分自身の成長を実感する良い機会となり、それとともに、『働きがい』『やりがい』『生きがい』を見出すことを期待している」とコメントしている。



若手が成長を実感する機会となっている技術発表会

中堅・若手社員が実行委員会を結成し、企画から当日の進行・発表までを担い、オンライン形式での開催を継続している。

若林直樹・社長は「本年も今までと同様、中堅・若手社員が中心